




# てんりゅうのもり 天竜の森


★★★★データ★★★★  
 静岡悠久の森（県有林）  
 場所：佐久間町大井・春野町豊岡  
 面積：95ha  
 標高：1100～1350m  
 ★★★★★★★★★★

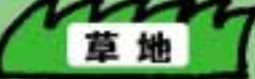
## 環境データ


  
 常緑広葉樹


  
 落葉広葉樹

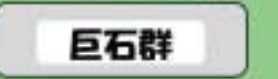
  
 針葉樹

  
 竹林

  
 草地

  
 沢・川

  
 池

  
 巨石群

落葉広葉樹の森が広がり、新緑や紅葉が美しいです。遊歩道や広場が整っていて、富士山や南アルプス・伊豆半島・浜名湖などが見渡せます。標高が高いため寒さ対策が必要です。また天候が変化しやすいので、雷が鳴るなどしたら避難してください。クマ・マムシ・ハチ類・ウルシ類などにも注意！

## アクセス



- 車
- 東名浜松ICから2時間
  - JR浜松駅から国道152号線 2時間30分
  - 東名袋井ICから天竜経由で2時間
  - JR袋井駅から2時間30分

### 最寄りの病院

独立行政法人  
 国立病院機構天竜病院  
 浜北市於呂4201-2  
 Tel.053-583-3111

国民健康保険佐久間病院  
 佐久間町中部18-5  
 Tel.0539-65-0054

静岡県救急医療情報センター  
 Tel.053-457-1199



当森林をご利用の際には、あらかじめ下記までご連絡ください。講師紹介などについてもお問い合わせください。

連絡先 静岡県北遠農林事務所 森林整備課 Tel.0539-26-2314  
 〒431-3313 天竜市二俣町鹿島559

★ 12月28日から4月15日までは、凍結等により道が閉鎖されるため、車での進入はできません。

発行：平成17年3月・静岡県環境森林部自然ふれあい室  
 〒420-8601 静岡市(葵区)追手町9番6号 Tel.054-221-2664  
 森づくりに関する情報はこちらをご覧ください。  
 静岡森づくり情報<http://kankyou.pref.shizuoka.jp/mori/index/html>



ほおずき平  
 食事や休憩、レクリエーション活動ができる広場です。

中央広場  
 食事や休憩ができる広場です。

避難小屋  
 緊急時の避難や食事、休憩にご利用ください。誰でも使用できる水洗トイレもあります。

野鳥の森広場  
 野鳥のさえずりを聞きながら休憩ができる広場です。

水飲み  
 避難小屋(休憩所)  
 水洗トイレ

天気の良い日には、中央アルプス・木曾御岳山などが見えるよ。

巨石群



# こんなプログラムをやってみよう！

天竜の森は標高が高く、豊かな落葉広葉樹の森が広がっています。遊歩道が整備されていて、車椅子やベビーカーでも通行できる道があります。野鳥はもちろん、運がよければニホンジカやカモシカなどの野生動物に出会えるかもしれません。

## ふーん そうだったんだ

野生動物の糞を探して調べてみよう

### ①糞を探そう

フィールドを歩いて動物の糞を探しましょう。事前に動物の糞について予習しておくとしやすい！形や色、臭い、見つけた場所をノートに記入しておこう。



### ②持ち帰って、洗う

ビニール袋やフィルムケースに入れて持ち帰ります。生ゴミの水切り袋などメッシュの袋に入れて、水でよく洗おう！



### ③何が入っているかな

ピンセットで入っているものを取り出そう！昆虫の足や羽、植物の切れはし、種などが見つかるよ！



### ④種にとっての動物の役割

糞をした動物を推測してみよう！種が遠くに運ばれる方法について、みんなで話し合ってみよう。



出典：森林環境教育プログラム集（静岡県発行）



こんな体験もできるよ！！

### 巨石群で修行を体験

かつて秋葉山の修験者が修行していた巨石群があります。修験者になったつもりで「石の上にも3年・・・うむむ・・・」

### 土を調べよう

落葉樹林の土と針葉樹林の土、そして学校の運動場の土との違いを調べてみよう。  
土を持ち帰って水をあげて、どんな芽がでるか観察するのも良いでしょう。



### 森林作業体験

きのこのほだ場や炭焼き窯、木材を運ぶ道具などを見ることが出来ます。木を切るなどの作業をおこなうときは、事前に農林事務所に相談してください。



### 森を使うときのルール

- ★ 生き物は観察が終わったらもとの場所にかえしましょう。
- ★ ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ★ 自然をなるべく傷つけない工夫をしましょう。

